

2025/6/2 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 7 章 24-29 節 (新約聖書 12 頁)

「そこで、私のこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川が溢れ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。私のこれらの言葉を聞いても行わない者は皆、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に似ている。雨が降り、川が溢れ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れて、その倒れ方がひどかった。」

イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。彼らの律法学者のようにではなく、権威ある者のようにお教えになったからである。

試練

マタイの 5 章から 7 章は、イエスの山上の説教です。その最後に、この岩の上に家を建てた人と砂の上に家を建てた人のたとえ話があります。イエスの言葉を行う者は豪雨や洪水、暴風が来ても流されない岩の上に家を建てた賢い人に似ているが、行わない者は砂の上に家を建てた愚かな人に似てひどい倒れ方をすると言っています。

奇しくもイエスの一番弟子の名前はペトロ、ケファとも言って「岩」の意味です。しかし彼はイエスの言葉を行えませんでした。イエスが捕らわれると逃げます。さらにイエスと一緒にいたと言われると「何を言っているのか、分からない」、「そんな人は知らない」と否定しました。イエスの言葉を信じられず、砂の上の家のように流されたのです。

たとえ身近でイエスの教えを聞いていたとしても、目の前でイエスの行動を見ていたとしても、豪雨や洪水、暴風のように試練はあります。悪人だから試練があるのではなく、たとえ善人であっても試練はあります。試練というのは決して罰ではありません。神は愛する者を試みることもあるのです。

さてイエスを拒んだペテロはどうなったのでしょうか。イエスが十字架にかかり三日後、イエスは家に鍵をかけ閉じこもっていた弟子たちに「あなたがたに平和があるように」と言われました。この後、あの弟子たちは「主の平和」と挨拶を交わし、主がいつまでも共にいると信じ、喜び、感謝を献げたのでした。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、わたしたちには思いも寄らない時に、思いも寄らない困難と向き合います。そして最も辛いのは何も信じられず、あなたまで見失ってしまうことです。でもあなたはその困難を通して、信じる喜びと感謝へと導かれます。どうかあなたの言葉に耳を傾け、祈り求め続け、地の塩、世の光と成長するように導いてください。特に、今、病にある方々を覚えて祈ります。どうかひとときでも早く回復の時を与え、共に感謝を献げる日を迎えることができますようにお守りください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン